

発見!

ちょっと気になる

まちのへ

特集

まちのタイムライン
ちょっと気になるまちの人

子育て・健康・相談

まちからのお知らせ

まちの話題



伊奈町立図書館
児童奉仕ボランティア

「がらがらどん」

絵本の読み聞かせやおはなしを語るボランティア。
平成元年から活動し今年で30周年を迎える。



今回は創設当時から在籍している2人に話を聞きました——



会長 齊藤 雅子さん(右)
田辺 千里さん(左)

「がらがらどん」名前の由来となった本

この絵本は三匹のやぎが主人公のノルウェーの昔話です。創設当時に会の名前を決める際、みんながよく知っているこの本から名前を取ろうと決め「がらがらどん」という名称になりました。絵本の初版はなんと1965年。何年経っても愛され続けるこの本は、ボランティア「がらがらどん」の活動を30年見守ってきました。

毎週、来ればやってる「がらがらどん」

メインの活動は、図書館で毎週土曜日14時からの「おはなし会」。3歳から小学校低学年を対象に絵本の読み聞かせやおはなし(昔話など)を行います。このおはなし会では、子どもたちの呼び声で毎週必ず「うさこちゃん」が登場し、その日のおはなし会が始まります。当初は月2回でしたが、いつでも来やすいようにと毎週開催にしました。ほかに、赤ちゃんとお母さんを対象にしたおはなし会「こぐまちゃんのじかん」、平成13年から始まった町内小学校に出張する学校おはなし会など、多数の活動をこなしています。



聞き手と語り手が一つになる瞬間

「子どもは本当に素晴らしいですね」そう話す理由は、子どもたちのおはなしの世界へ入り込む力にあるといえます。語り手の目をじっと見て、面白いところでは声をあげて笑い、怖いところではぞっとしたような表情をする。そんな反応に助けられて、おはなしにも力が入る。その瞬間、聞き手と語り手が一つになったような感覚を得られるんです。語り手にとって、聞き手の「楽しかった」それが一番なんです。そう話す2人の目はいきいきと純粋に輝いていました。



うさこちゃんの登場

今のままの活動を続ける—そのために必要な「ボランティア」



今のままの活動をこれからも続けていくことが目標と話す「がらがらどん」にとって、一番の悩みは会員の不足にあります。おはなし会に参加した子育て中の方や、この記事を読んで興味を持った方は、それだけで終わるのではなく「がらがらどん」をもっと知り、仲間として活動するのはいかがでしょうか。

子どもたちにはこれからも本が与える環境・世界、本に浸れる時間を与えていく必要があります。そのために「がらがらどん」はこれからも、子どもたちにいいものを見て、聞いてほしいという変わらない想いを抱きながら、実際に話す何十倍もの時間、努力を続けていくのです。

清の一言——大島清 「平成30年度スタート」



早いもので今年も4月となり、新年度がスタートいたしました。町政を預らせていただいて3年目を迎えることとなります。

国の財務省は融資をする全市区町村に対して、財税状況の確認を目的とするヒアリングを行っています。先日、財務省の方が、伊奈町のその結果報告に訪れました。

ヒアリング対象は平成27年度までの内容でしたが、結果はなかなか厳しいものでした。(結果の詳細は町ホームページに掲載しています。)現在は経営感覚を生かした財政運営を進めていますし、今すぐ町の財政が立ち行かなくなるものではありませんが、将来にわたって住みやすい町として発展していくためには、施設の更新等にかかるコストを長期的に考え、財政の健全化を進めなければならない状況とな

っています。

平成30年度は、私の公約にもあります「忠次公關連事業によるまちづくり」「子育て支援」「健康長寿」など諸施策を進めてまいります。特に農業の課題への対応と観光政策やシティセールスを通じて町の活性化を図るため、「アグリ推進課」と「元気まちづくり課」を今年度新設しました。また、使用者の利便性を図るため、伊奈中央駅にエレベーターを設置します。そしてグローバル化に対応する生徒を育てるため、町立中学校3年生を対象とした英語検定3級の検定料全額補助を行います。

財政健全化を計画的に進めながらも、これらの事業ほか各種施策にメリハリをつけて積極的に進め、「住み良いまち日本一」、「住んでみたいまち日本一」を目指してまいります。

※平成30年度施政方針と予算等の詳細につきましては、5月号でお知らせいたします。

伊奈町 歴史を巡る旅

～伊奈町 文化財調査報告書 第2集 刊行～



昨年新たに伊奈町指定文化財に指定された「下郷区の春祈禱」と「中荻のお獅子様」についてまとめた『伊奈町文化財調査報告書 第2集 平成29年度町指定文化財』を3月に刊行しました。

●春祈禱



悪疫退散を祈願する行事で、獅子頭を被り、地区内を廻ります。

外からの災いを防ぐという意味から「フセギ」などとも呼ばれます。見物人は、獅子頭から垂れ下がる幕を頭に掛けてもらうことで、病気にならないとされます。

●お獅子様

悪疫退散を祈願する行事で、上尾市平方の八枝神社から借りてきたお獅子様を廻します。

各家の軒先や中庭では、担いだお獅子様を大きく揺らし、願意の強さを示します。その後、お獅子様の下をくぐることで、その御利益にあずかります。



今年の「下郷区の春祈禱」は4月15日(日)、「中荻のお獅子様」は4月29日(日・祝)にそれぞれ実施されます。見学される際は、地元の方々にご迷惑のかからないようご配慮ください。



増田 隆氏

瑞宝双光章を受章

増田氏は、長年にわたり税務署および国税局職員として税務行政事務に尽力されました。このたびの受章は、その功績が認められたものです。

ありがとうございました

♥(株)森田染工場からタオル240枚を障害福祉サービス事業所まっぼっくりのために役立ててほしいと社会福祉協議会にご寄付がありました。いただいたタオルは、まっぼっくりで有効に活用させていただきます。